

# 1 R1年度の研修概要

◇R1年度受講者：19人

- 〈内訳〉
- ・市町村職員：12人
  - ・住民団体等：7人

◇研修講師：山梨大学生命環境学部  
地域社会システム学科  
大山 勲 教授

No	研修内容	日時	
第1回	「課題：自分の好きな風景」 についてワークショップ 景観の基礎	R1.6.20	(木) 10:00~16:30
第2回	景観まちづくりの基礎 県内現地研修 (市川三郷町)	R1.7.22	(月) 10:00~16:30
第3回	近県現地研修 (草津町)	R1.8.23	(金) 13:15~16:00
第4回	県内現地研修 (忍野村)	R1.9.9	(月) 13:30~15:30
第5回	近県現地研修 (松本市)	R1.10.11	(金) 10:00~15:30
第6回	第7回課題発表に向けた活動	R1.11.11	(月) 10:00~15:00
第7回	「市川三郷町市川地区中央部 を盛り上げるためのアイデア 提案」の発表及び地域住民と のディスカッション	R1.12.16	(月) 10:00~16:00

# 3 研修（第1回）の内容

1. 「課題：自分の好きな風景」について、班に分かれてワークショップ  
⇒ 写真を使い、風景のジャンル分けを行うことで、『良い景観』の定義を探る。
2. 各班発表  
⇒ 講師から講評（良い景観に規則性がある）
3. 景観の基礎について 座学



# 4 研修（第2回）の内容

1. 景観まちづくりの基礎
2. 課題発表『市川三郷町市川地区中央部を盛上げるためのアイデア提案』
3. 市川三郷町市川地区中央部の現地視察



# 5 研修（第3回）の内容

## 現地研修『草津町の景観まちづくり』

### 草津町のまちづくり

1. 草津町の歴史と取組について  
（街なみ環境の保存、再整備）
2. まちあるき

### 住民を中心としたまちづくり

なぜ景観が大切なのか？なんでまちづくりが必要か？など率直な住民の疑問や質問に答えながら、地域での交流を重ね、温泉街の5地区の各々の青年部を中心にまちづくり協議会が立ち上がり、まちづくりのルールが作られ、地権者やテナントなどの同意を経てまちづくり協定が締結される。  
住民のまちづくりに対する想いを行政が形にするため、まちづくり協定をもとに草津町まちづくり条例を制定した。

### 街なみの再整備

歴史的まちなみを保全・創出するため、電線類の地中化や湯畑広場の整備のほか、周辺を一体的に整備を行っている。



# 6 研修（第4回）の内容

## 現地研修『忍野村における景観づくり』

- 1. 景観形成モデル事業
  - 2. 世界文化遺産景観形成支援事業
- 各種事業による修景事例の視察



## 現地研修『松本市の景観まちづくり』

協働による街なみ環境整備事業

### 1. 歩いてみたい城下町整備事業

（中町、お城下町、お城東、中央東、お城周辺）

### 2. まちなみ修景事業

### 3. 水めぐりの井戸整備事業

### 歩いてみたい城下町整備事業

#### 【事業計画づくり】

・松本城周辺の5地区各々の地区の特徴をふまえ、地区間を連携。何度もワークショップを行った。

協働とは市民と行政と一緒にやること自体に協働の意味はない。

『目的を共有する』ことが、協働の大前提

#### 【協働の視点】

行政の取組み

両者の目的をつなげる人・取組み

市民の関心  
市民の取組み

整備方針の策定

整備計画の策定・まちづくり協定等

地区施設の整備・住宅等の整備

（道路、集会所、公園等）（修景施設に補助）

豊富な舗装デザイン



修景



【中町通り】



【松本城からの眺望】

松本市景観計画によるお城周辺の高さ規制



【変電ボックス】



【花の飾り】

### 水めぐりの井戸整備事業



# 8 研修（第6回）の内容

課題『市川三郷町市川地区中央部を盛り上げるためのアイデア提案』

- ①今ある地域資源を活かすアイデア（ソフト）
  - ②資源を改善して活性化するアイデア（ハード）
  - ③①、②を活かすための地域の取組みやシステムのアイデア
- 以上の提案を発表するための準備





# 9 研修（第7回）の内容

課題『市川三郷町市川地区中央部を盛り上げるためのアイデア提案』発表

各班 発表 20分

地域住民（市川地区中央部まちづくり懇談会）質疑 5分

研修で培った知識、経験を基に  
実際にまちづくり活動に取り組んでいる地域へアイデアを提案

